

令和5年度京都支部事業実施報告

1. 令和5年度京都支部重点事業実施結果 … P 1
2. 令和5年度京都支部K P I達成状況 … P 2～P 1 8
3. 評議会における支部保険者機能強化予算の
策定スケジュール … P 1 9

令和6年7月22日
令和6年度 第1回評議会



1. 令和5年度京都支部重点事業実施結果

※評価は、K P I の達成度合いを
3段階 (◎○△) で表示

◎：完全達成 ○：概ね達成 △：未達成

項目	評価		頁	担当 グループ
	4年度	5年度		
1. サービス水準の向上	△	○	3	業務 グループ
2. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化	◎	△	4	
3. 被扶養者資格の再確認の徹底	◎	△	5	
4. 効果的なレセプト内容点検の推進	◎	○	7	レセプト グループ
5. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進	◎	△	8	
6. 特定健診実施率・事業者健診データ取得率の向上	○	○	10	保健 グループ
7. 特定保健指導の実施率及び質の向上	△	△	11	
8. 重症化予防対策の推進	△	△	12	
9. コラボヘルス（健康経営）の推進	◎	◎	14	企画総務 グループ
10. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	◎	◎	15	
11. ジェネリック医薬品の使用促進	◎	◎ ^(※)	16	
12. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信	◎	◎	17	
13. 費用対効果を踏まえたコスト削減等	◎	◎	18	

(※) 令和6年2月実績をもとに評価

業務グループ

1. サービス水準の向上

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①サービススタンダードの達成状況を100%とする ②現金給付等の申請に係る郵送化率を96.0%以上とする	① 100% サービススタンダードの達成状況を100%とする ※全支部一律に設定 ② 96.0%以上 現金給付等の申請に係る郵送化率を96.0%以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ○</div> ① 100% (全国44支部達成 全国平均99.9%) ② 94.6% (全国 22位 全国平均 95.6%)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
①100% (全国46支部達成：99.5%) ②93.9% (全国22位)	①100% (全国44支部達成：99.9%) ②94.7% (全国25位)	① 99.99% (全国44支部達成：99.9%) ② 94.5% (全国27位)
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
① サービススタンダード対象の申請書においては、新システムにおける自動審査機能を最大限に活用するため、新様式申請書への切り替え勧奨や、申請書の正しい記載方法の周知・広報の取り組みを推進することで、受付から給付までの所要日数が4.81日（全国平均 6.19日）と、高い水準でサービスを提供することができた。 ② 支部移転に合わせてホームページやメールマガジン等で広報するとともに、電話での案内時にも郵送での手続きを推奨することで取り組みを実施し、下期に関しては郵送化率が上昇傾向となったが目標数値には到達しなかった。		① 引き続き、システムによる自動審査機能を活用するための取り組みを推進するとともに、徹底した進捗管理を行うことで、サービス水準の向上を図る。また、少数精鋭による事務処理体制を実現するため、一層の業務効率化のための取り組みを推進する。 ② 引き続き、周知・広報活動及び加入者からの問い合わせの際に、郵送での手続き案内を積極的に実施することにより、郵送化率向上を目指す。

2. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 <small>の</small> 施術の申請の割合について対前年度以下とする	<u>1.04%以下</u> 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 <small>の</small> 施術の申請の割合について対前年度以下とする ※全支部一律に設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 △</div> 1.12% (全国46位 全国平均0.85%)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
1.28% (全国39位) 全国平均1.12%	1.12% (全国41位) 全国平均0.95%	1.04% (全国43位) 全国平均0.86%
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> 申請件数について、令和4年度は前年度と比較して約5,000件減少しており、割合としては1.1%減となっている。一方、3部位15日以上<small>の</small>施術については、件数が前年度から約300件増加したことで、全申請書に占める割合が前年度比0.08%増となり目標未達成となった。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度K P I 対象外 加入者への施術内容の照会を継続して実施し、適正な施術内容となるよう啓発を進める。 申請内容に疑義のある施術所に対しては文書指摘を行い、改善が見られない場合等については面接確認も視野に入れつつ、不正請求の抑止に努める。

3. 被扶養者資格の再確認の徹底

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を94.0%以上とする	<u>94.0%以上</u> 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を94.0%以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 △</div> 90.20% (全国25位 全国平均89.12%)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
92.3% (全国26位) 全国平均91.3%	92.7% (全国20位) 全国平均91.3%	93.46% (全国22位) 全国平均92.27%
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者状況リスト未提出の事業所への催告について、本部から文書による勧奨を実施するとともに、支部独自で規模別・業態別に電話による勧奨（2回、約7,500事業所）を実施したが、目標数値を下回る結果となった。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度K P I 対象外 令和5年度の提出状況から、提出勧奨における時期や取り組み方法とその効果を分析し、より効果的な手法を検討・実施する。

レセプトグループ

4. 効果的なレセプト内容点検の推進

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
① 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率(※)について対前年度以上とする (※) 査定率 = $\frac{\text{レセプト点検により査定(減額)した額}}{\text{協会けんぽの医療費総額}}$ ② 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする	① <u>0.368%以上</u> 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする ※ <u>全支部一律に設定</u> ② <u>7,146円以上</u> 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする ※ <u>全支部一律に設定</u>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ○</div> ① 合計 0.436% (全国14位) 基金 0.294% (全国8位) 協会 0.141% (全国29位) ② 6,822円 (全国33位)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
① 合計 0.351% (全国13位) 基金 0.277% (全国8位) 協会 0.074% (全国37位) ② 5,657円 (全国19位)	① 合計 0.354% (全国17位) 基金 0.269% (全国8位) 協会 0.085% (全国29位) ② 6,081円 (全国22位)	① 合計 0.368% (全国13位) 基金 0.264% (全国6位) 協会 0.103% (全国27位) ② 7,146円 (全国18位)
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
① 令和5年度において、協会での査定率が前年度から0.038ポイント上昇、査定金額についても1億9千万円を超え、近年では最も高い査定金額となり、KPIの0.368%を0.068%上回りKPIを達成した。 ② 令和5年度上期において1件当たりの査定額が低調に推移したため、下期より内容点検効果の高いレセプト（高点数レセプト等）を優先的かつ重点的に審査するなど、効果的かつ効率的なレセプト点検に取り組んだが、KPIには達しなかった。		KPI①変更有：再審査(協会単独)レセプト点検の査定率 <ul style="list-style-type: none"> ● 令和6年度は診療報酬改定があり、支払基金の情報や協会他支部の事例の収集と活用を行い、審査の傾向などの変化に対応していく。 ● 行動計画に基づき、内容点検効果の高いレセプト（高点数レセプト等）を優先的かつ重点的に審査し、システムによる自動点検を最大限活用し効果的かつ効率的なレセプト点検を推進するとともに、内容点検の質的向上、効果の最大化を図る。 ● 協会他支部と連携のうえ定期的な研修等を実施するほか、支部内で点検観点の共有を行うことで、点検員のスキルアップを図り、KPIの達成を目指す。

5. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
<p>①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする</p> <p>②返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする</p>	<p>① 87.56%以上 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p> <p>② 66.78%以上 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 △</div> <p>① 総合：83.69% （全国 38位 全国平均 82.10%） 一般：83.66% （全国 38位 全国平均 82.01%） 任継：84.54% （全国 32位 全国平均 84.16%）</p> <p>② 61.37% （全国 25位 全国平均 53.29%）</p>
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
<p>①総合：89.86%（全国92.41%） 一般：90.25%（全国92.79%） 任継：81.48%（全国82.43%）</p> <p>②66.45%（全国23位）</p>	<p>①総合：85.21%（全国38位 全国84.11%） 一般：85.40%（全国84.20%） 任継：81.10%（全国81.70%）</p> <p>②63.80%（全国27位）</p>	<p>①総合：87.56%（全国38位 全国86.27%） 一般：87.70%（全国86.36%） 任継：84.04%（全国83.51%）</p> <p>②66.78%（全国20位）</p>
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<p>① 保険証回収率は、日本年金機構と連携し、資格喪失後早期に保険証を返却するよう事業所への電話催告や保険証未回収者への電話及び文書催告を徹底し、回収率の向上に努めたが、回収率を3.87ポイント下げ、KPI達成とはならなかった。</p> <p>② 返納金回収率は、保険者間調整等を積極的に実施し、未納者に対する接触率向上を図るも、高額債務者の複数名で年度内収納が叶わず、結果、回収率・全国順位ともに前年度を下回りKPI達成とはならなかった。</p>		<p>KPI②変更有：返納金（不当請求を除く）の回収率：74.36%</p> <p>① 保険証回収は早期返納催告実施に加え、未返納の多い事業所への電話催告や日本年金機構と連携した制度周知を実施する。</p> <p>② 返納金回収は高額債務者への早期対応を主として、引き続き接触率の向上に努める。また、文書及び電話による催告を実施のうえ、保険者間調整の推進、法的手続の実施等により債権回収に努める。</p>

保健グループ

6. 特定健診実施率・事業者健診データ取得の向上

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①生活習慣病予防健診実施率を63.9%以上とする ②事業者健診データ取得率を9.6%以上とする ③被扶養者の特定健診受診率を35.0%以上とする	① 68.5%以上 生活習慣病予防健診実施率を68.5%以上とする ※支部ごとに設定 ② 8.5%以上 事業者健診データ取得率を8.5%以上とする ※支部ごとに設定 ③ 30.0%以上 被扶養者の特定健診受診率を30.0%以上とする ※支部ごとに設定 ①+②+③ 66.5%	① 66.0% (全国19位) 評価 ○ ② 5.5% (全国40位) ③ 31.9% (全国10位) ①+②+③ 63.6% (26位)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
①57.7% (全国20位) ② 7.5% (全国31位) ③22.1% (全国33位) ①+②+③ 55.6% (全国27位)	①61.3% (全国15位) ② 6.0% (全国38位) ③27.1% (全国21位) ①+②+③ 55.9% (全国31位)	①64.7% (全国16位) ② 6.1% (全国40位) ③29.2% (全国15位) ①+②+③ 62.2% (全国28位)
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
① 実施機関2増、GISを活用したハガキによる個人勧奨(38会場21万5千件)、付加健診対象者等へのマンガ掲載DM、新規適用事業所等への電話による受診勧奨、加えて特別枠予算で受診率が低い地区や業態を絞り勧奨実施。自己負担額が軽減され昨年度より実施率を若干伸ばした。 ② 令和4年10月の共済組合の適用拡大による資格喪失の影響が大きく、健診機関からのデータ取得件数は令和5年度も減少した。医療業や大規模事業所へ提供依頼文書を送付し、事業所からの取得件数は前年度を上回った。 ③ 会場費補助事業による新たな会場や地域での集団健診の拡大(12会場)、GISを活用したハガキによる勧奨(95会場18万1千件)、市町村がん検診との同時実施DM勧奨の連携自治体拡大等(既存3市に加え新たに宇治市でも実施)により実施率を大きく伸ばし目標達成した。		① 既存事業を着実に進め、DM作成時には昨年度に引き続き自己負担額軽減と今年度から始まる付加健診対象年齢拡大を最大限PRする。また受診率の低い業態や地域固有の健康課題に合わせた文書及び電話勧奨と、12月の事業所宛に健診機関の予約空き状況DM等効果的な勧奨を意識し実施率目標達成を目指す。 ② 健診機関との連携強化・業界団体主催の健診実施状況の把握・新スキームの定着を図るため、今年度も契約健診機関に対しアンケートを実施。その結果から、業態別のアプローチ等支部勧奨の強化を図る。また、特定保健指導の実施につなげるため、健診機関へ健診実施後の確実な提供および早期提供を定期的に依頼していく。 ③ 主に健康宣言事業所あてに特定健診の受診勧奨を新たに実施。また既存事業を着実に進めるとともに、会場費補助事業のリニューアルや骨密度測定付特定健診事業の参加機関拡大により実施率目標達成を目指す。

7. 特定保健指導の実施率及び質の向上

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①被保険者の特定保健指導の実施率を36.4%以上とする ②被扶養者の特定保健指導の実施率を15.8%以上とする	① 33.2%以上 被保険者特定保健指導の実施率を33.2%以上とする ※支部ごとに設定 ② 18.3%以上 被扶養者特定保健指導の実施率を18.3%とする ※支部ごとに設定 ①+② 32.5%以上	① 18.4% (全国33位) 評価 △ ② 15.1% (全国25位) ①+② 18.2% (全国33位)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
①12.5% ② 7.9% ①+② 12.3% (全国40位)	①17.6% ② 9.2% ①+② 17.2% (全国31位)	①16.9% ②13.5% ①+② 16.8% (全国34位)
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 4年度後半の初回面談数の伸び悩みから、令和5年8月の実施率が全国順位を42位まで落とした。5年度当初から初回面談数を健診機関中心に伸ばし、令和6年3月分では全国順位も33位まで上昇した。 ● 事業者健診受診者に対する保健指導を引き続き事業所へ案内し利用率増加させた。一方で支部からの利用勧奨目標（月800事業所2,000人）に対して約103%の達成率となり、目標数値を上回った。 ● 大規模且つ初回面談の実施率の低い健診機関と戦略的な打ち合わせを実施。また、受入率の低い大規模事業所訪問を下期に実施した。 ● オプション付き呼び出し型保健指導は前年度より低い参加率であった。会場費補助事業で特定健診・保健指導実施数を増加させたが、被扶養者の実施率はKPI未達成となった。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 第4期特定健診・特定保健指導において「評価体系の見直し」に基づく成果を重視した特定保健指導の推進。 ● 昨年度から訪問案内の変更に対応し、漏れのない抽出を意識し利用案内率を更に高める。 ● 支部での初回受入率を強化すべく、電話勧奨や大規模事業所訪問を引き続き実施する。また外部委託専門業者も有効活用し実施率向上を目指す。 ● 引き続き大規模且つ初回面談の実施率が低い健診機関と、面談件数の向上のための戦略的な打ち合わせを実施し、施設内及び検診車における初回当日面談の拡大を目指す。

8. 重症化予防対策の推進

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を13.1%以上とする	<u>13.1%以上</u> 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を13.1%以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 △</div> 8.2%(全国38位)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
9.5% (全国37位)	8.9% (全国39位)	9.3% (全国29位)
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> トータルヘルスケアサポート（健診当日の面談）で4健診機関で約5,000人を実施した。当日に結果が判明する血压について受診勧奨を必須とした。約750人に血压を含めた受診勧奨を実施。 支部で対応した未治療者への2次勧奨及び翌年度の健診直前に再度通知する3次勧奨を実施。2次勧奨DMは約9,000件、3次勧奨DMは約1,500件発送した。2次勧奨の平均受診率は判明分では約2%。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度から目標値設定が、上記から「健診受診月から10ヶ月以内の医療機関受診率」へ変更となる。ホームページや事業所等を通じ広報を積極的に行い、健診後早期の受診勧奨を促す対策を講じる。 引き続きトータルヘルスケアサポートを予算枠拡大して実施する。公募の結果6健診機関で約12,000人実施予定。 未治療者勧奨対象期間を拡大して実施。2次勧奨DMは20,000件、3次勧奨DMを5,000件発送予定。特にLDL高値者の反応が少ないため勧奨内容に工夫する。

企画総務グループ

9. コラボヘルス（健康経営）の推進

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
健康宣言事業所数を70,000事業所以上とする	1,010事業所以上 健康宣言事業所数を1,010事業所以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 1,116事業所 （参考） 健康経営優良法人2024 323社
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
健康宣言事業所数：615事業所 （参考）健康経営優良法人：160社	健康宣言事業所数：787事業所 （参考）健康経営優良法人：274社	健康宣言事業所数：971事業所 （参考）健康経営優良法人2023：282社
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 業態（特に運輸業・建設業）ごとの健康課題に着目した分析に基づく「健康データブック」の作成・活用。 ● 京都府と連携したウォーキング事業実施。 ● 経済団体等と連携した「健康経営セミナー」の実施。 ● 健康講座（動画実施もあり）の実施（228社）、健康測定器の貸出（234社）、事業所カルテの配布等のサポート事業実施。 ● 事業所規模や取り組み度合いに応じた好事例を事例集として展開することで宣言事業所へのフォローアップを実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 「健康データブック」の更なる活用。6年度には健康経営の効果分析に基づく「健康データブック」作成・活用。 ● サポート事業（事業所カルテ、事例集、健康講座、健康測定器貸出）を活用した宣言勧奨を実施。 ● 京都府・自治体・商工三団体・労働局・産業保健総合支援センターと連携したコラボヘルス推進。 ● 業界団体（運輸三団体）と連携したコラボヘルスの推進。 ● 取り組みが顕著な事業所と連携し、健康経営の好事例についての発信を強化。

10. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を50%以上とする	<u>50.6%以上</u> 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を50.6%以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 51.8% (全国37位)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
41.7% (全国40位)	44.6% (全国38位)	48.4% (全国38位)
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 伸び率は3.43%で目標を大幅に上回り、全国的には37位とひとつ順位を上げたが、まだまだ下位の順位のため更なる委嘱拡大が課題。 ● 健康保険委員向けオンライン研修会を実施。 ● 広報プロジェクトにおいて「健康データブック」「座談会」等の特設ページ掲載し、プレスリリースを行うことで新聞やWEB等の媒体で多く掲載された。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 事業所の規模など特徴に応じた委員勧奨の実施。 ● 健康保険委員表彰、研修会の実施による健康保険委員活動の強化。 ● 広報プロジェクト「現在値（いま）を見よう」を継続実施、「健康経営の普及」「健康サイクル定着」に向けてより見やすい特設ページの改修実施やWEBやSNS等を活用した多様な広報を実施。

11. ジェネリック医薬品の使用促進

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>ジェネリック医薬品使用割合80%という目標に向けて、年度末の目標値を支部ごとに設定する。ただし、ジェネリック医薬品使用割合が80%以上の支部については、年度末時点で対前年度以上とする</p>	<p>80.0%以上 ジェネリック医薬品使用割合（*）を80.0%以上とする <u>※支部ごとに設定</u></p> <p>* 医科、DPC、歯科、調剤</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> <p>81.0%（全国43位） ※R6.2診療分</p>
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
77.1%（全国43位） R3.3診療分	76.9%（全国43位） R4.3診療分	78.7%（全国43位） R5.3診療分
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 使用割合へのマイナス影響度が大きい医療機関や薬局への訪問による促進を実施。 ● 新規薬価収載された医薬品にかかる支部独自通知を実施。 ● KPIについては達成しているが全国平均83.7%（R6.2月診療分）とは2.7%の開きがあり更なる取り組みが必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ● レセプト分析により若年者や重点的に取り組む対象を明確にしたうえで支部独自の軽減額通知の実施。 ● 分析結果を活用し医療相談ダイヤルの活用などの「上手な医療のかかり方」について啓発を実施。

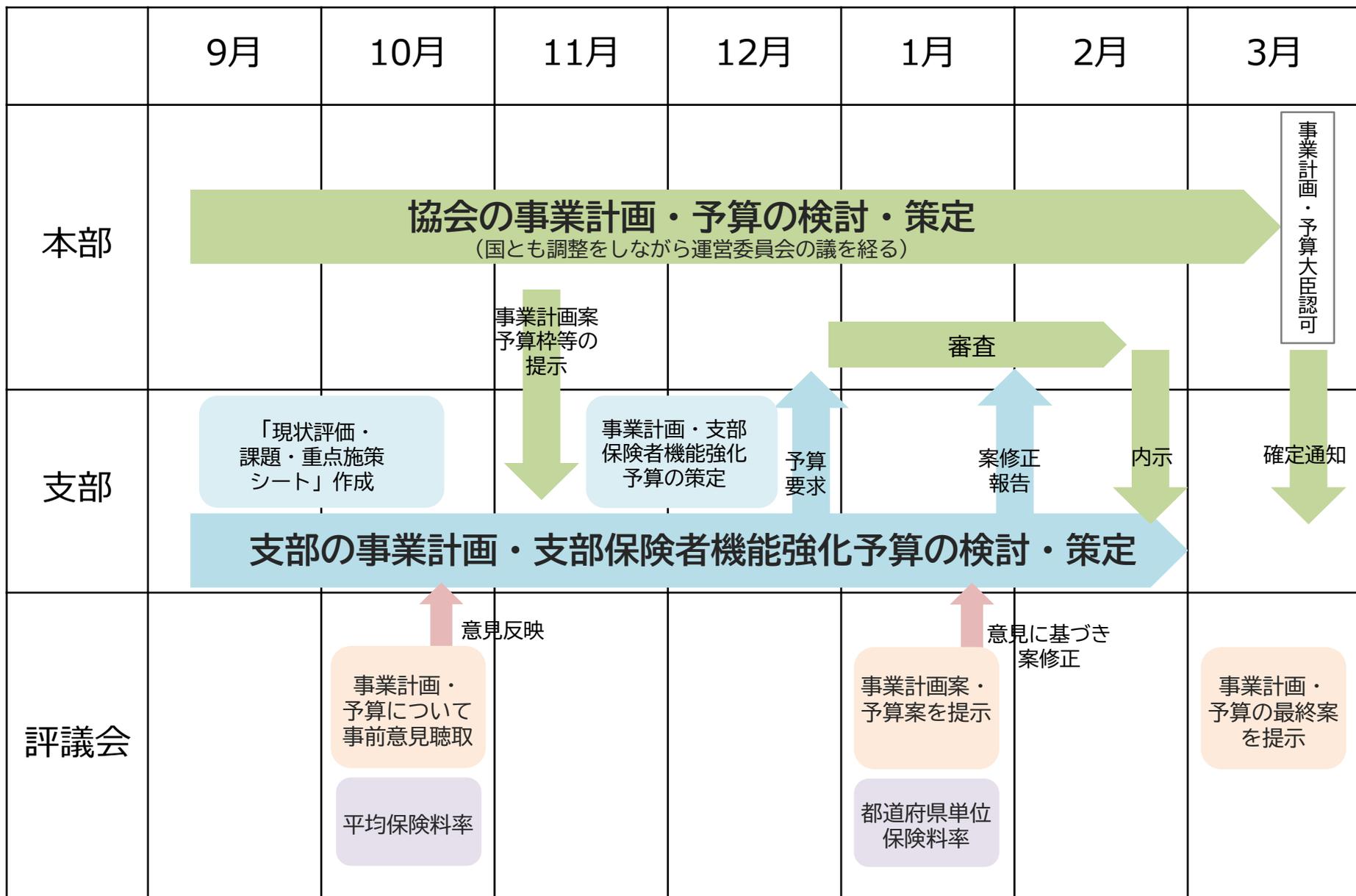
1 2. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を、全支部で実施する</p>	<p>意見発信の実施 効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する <u>※全支部一律に設定</u></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> <p>意見発信実施</p>
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
実施なし	実施	実施
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 京都府医療審議会において、次期医療計画に健診受診にかかる連携した取り組みが示されていることに評価はするが、健診後の医療機関受診等適切な行動変容についても検討いただきたいこと、および傷病手当金にかかる精神疾患の割合が年々増加しており計画には事業所の観点での記述が希薄であることを意見発信した。 ● 丹後地域医療構想調整会議において新興感染症発生・蔓延時において要治療者の医療機関受診率が低下したことから次期医療計画より要治療者への啓発および医療提供体制の整備をお願いしたいと意見発信した。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 令和6年度KPI対象外 ● 令和6年度からの医療計画及び医療費適正化計画に掲げられた内容の着実な実施に向けて、医療費データ等分析により意見発信を行う。 ● 地域医療構想調整会議において医療費データ等分析結果や地域医療を見える化したデータベース等を活用しエビデンスに基づく意見発信を行う。

13. 費用対効果を踏まえたコスト削減等

令和5年度実績		
協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする	20%以下 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする ※全支部一律に設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 0% (0/21件) (全国1位)
令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
14.3% (全国31位)	0.0% (全国1位)	6.7% (全国14位)
令和5年度実績・評価		令和6年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り多くの事業者が参加できるよう仕様書の見直しを図り、他支部の調達情報を活用することで参加可能な事業者への声掛けを行うことで一者応札の削減を図った 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き競争参加に向け事業者への声掛けを徹底することにより、多くの事業者の参加を促して競争性の確保に取り組む

3. 評議会における支部保険者機能強化予算の策定スケジュール



※ 本部・支部の連携により、支部ごとの課題を明確に共有して課題解決を図ることを目的とした、医療費・健診情報等の分析に基づく支部ごとの現状・課題・重点施策をまとめたシート